

『まちづくり懇談会』を開催しました

町民の皆さまの意見・提案を町政運営に反映させるため、「まちづくり懇談会」を開催しました。今年度は町内4会場で開催し、計4回、124名の方が参加しました。

町長・町執行部と参加者が直接話し合い、地域が抱える様々な課題だけでなく、安心安全なまちづくりや町の将来について、課題解決に向けた提案や、どうすれば地域を活性化できるか等、活発な意見交換が行われました。懇談会でいただいた主な意見や提案をお知らせします。



伊王野基幹集落センター

7月25日(木)

問 地区社協として小地域福祉計画が6年目に入り、高齢者のふれあいルームは現在伊王野基幹集落センターを利用してありますが、さらに活性化させるための拠点として伊王野小が利用できるか、よい。高齢者が集まれる場所、拠点がほしい。伊王野小の跡地利用について、町はどのように考えているのか。

町長 地元の皆さんが納得する形で意見を聞きながら、すれ違いがないように進めたい。閉校になつてから時間が経っているので、方向性が決まればスピード感を持って進めていきたい。

問 農家も商店も後継者がいない嫁が見つからないのが原因の一つだと思う。結婚支援として、どのようなことをやっているか。

生涯学習課長 町の結婚支援事業

としては、町内にサポーターが10名程おり情報交換を行っています。また結婚支援センターへの登録をすすめており、出会いの場を提供しています。

町長 西郷村にも働きかけ、出会いの場を作れたらと考えています。まちづくり懇談会への参加者が少ないのが残念。せつかくの機会であるのにもったいない。多くの方を集める努力をしてほしい。

町長 昨年度はすべての回をゆめプラザ・那須で開催しましたが、地域に向いていくことが必要だと考え、このような形となりました。集まらない理由として、周知不足もありますが、逆に現状に満足しているのかなとも感じています。自治会長さんや班長さんの力も借りながら、より多くの方に参加していただける工夫をしていきたい。

高原公民館

7月29日(月)

問 那須高原には美術館や大きなレジャー施設があり、雄大な自然が満喫できるロイヤルリゾート那須の名にふさわしい大リゾート地となっている。しかし、温泉発祥の地である湯本・大丸地域の衰退がとまらない。30年以上前、観光構想がつけられ温

泉を核とした歩いて楽しい街並みづくりが提唱されたが、温泉神社周辺で終わってしまった。土地の問題等があり、再生計画も実現できなかった。そして現在は湯本住民も高齢化が進み、人口が半減してしまった。湯本温泉街の再生、活性化のために県や町の力を貸してほしい。

町長 那須町全地区の地域別再生計画を実施する考えです。湯本の知名度アップにも力を入れていくので、皆さんも力を貸してほしい。お金をかけずにおもてなしの心もあります。もう一度湯本温泉の知名度が県内1位になるように力を入れていきます。駐車場が少ないということも計画をもって進めていきたいと考えています。

問 那須街道から那須高原保育園に行く道が悪く、途中から狭く

